

病虫害防除技術情報第3号

平成 26 年 5 月 9 日

三重県病虫害防除所

クワシロカイガラムシの発生が多くなっています。

- 1 対象作物：チャ
- 2 対象病虫害名：クワシロカイガラムシ第1世代孵化幼虫
- 3 発生時期：やや早い
- 4 発生状況：多い
 - 1) 発生時期は早くなっています。県予察圃（亀山市）では、雌成虫の産卵はほぼ完了している状態ですが、孵化幼虫は確認できませんでした。発生時期は平年より早いと予想されます（表）。
 - 2) 県予察圃（亀山市）では、発生量は多くなっています。
 - 3) 巡回調査では、昨年秋から発生が多い状態が続いており、本年 4 月の雌成虫の発生圃場率 82.6%（平年 75.7%）と多、寄生株率 25.2%（平年 15.4%）と多い状況でした。
- 5 防除対策
 - 1) 防除適期は幼虫孵化最盛日の2日後から4日間程度です。これを過ぎると歩行型幼虫が固着して白色のロウ物質に覆われ薬剤の効果が著しく低下します。
 - 2) 指導機関による実際の孵化状況に関する情報や、自園の実際の孵化状況をルーペ等で確認して適期防除しましょう。
 - 3) 薬液を十分準備して、樹冠内の枝幹に十分かかるよう、丁寧に散布してください。
 - 4) 周囲の茶園の摘採状況に留意し、隣接茶園の摘採が終わったことを確認してから防除してください。

表 有効積算温度に基づくアメダス観測点の第1世代幼虫孵化最盛日
予測結果（計算日：5月9日、標高により補正）

	予想孵化最盛日	実測値(7年平均)
四日市	5月19日	—
亀山	5月18日	5月20日
粥見	5月19日	—
栃原	5月17日	—
度会	5月16日	—

* 栃原、度会は粥見から標高補正により計算

予測される防除適期；5月第4～5半旬（平年第5半旬）頃です

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。